

摂津市商工会

～ 摂津市特産鳥飼茄子の廃棄ロス減と地産地消普及促進 ～



廃棄ロス減

地産地消

地域資源ブランド化

大阪府摂津市



概要

★摂津市の特産物「鳥飼茄子」は、大阪府「なにわ伝統野菜」に認定されており、食材として有名料亭でも人気であるが、現在では生産する農家が市内3軒となり生産量が限られている。

★「鳥飼茄子」と市内飲食店を結び付け、地域資源のブランド化をめざして、令和4年、市場に出荷できず廃棄していた「鳥飼茄子」のB級品を市内飲食店に無料配布し、各店舗オリジナル料理の開発を推進。

★令和5年から、B級品を安価で出荷するとともに、JA、生産者、高等支援学校等と協力して「鳥飼なすワングランプリ」を開催し、各店舗のオリジナル料理の一位をお客が選ぶ投票、スタンプラリーを実施。

成果

★3年間を通じて農家と飲食店との連携する仕組みを構築。

★「鳥飼なすワングランプリ」市内参加飲食店が20店舗 (R5) から25店舗 (R6) に増加。

★廃棄していた鳥飼茄子のB級品の出荷量が683個 (R5)から834個 (R6)に増加。

★生産者は廃棄ロスがなくなり、飲食店は新メニューで新たな集客となり、お客は美味しい料理が食べられる三方好しのイベントとなった。

★令和7年に、大阪・関西万博に出店し、「鳥飼なすのスパイスーマカレー」250食を売り切り、国内外の方に「鳥飼茄子」を周知。